

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	住民と共に進める“美しい村づくり”事業
事業主体 (連絡先)	中川村 (総務課企画広報係 88-3001)
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	11,969,421 円 (うち支援金 : 2,758,000 円)

事業内容

中川村は、NPO 法人「日本で最も美しい村」連合に平成 20 (2008) 年 10 月に加盟し、全国の加盟町村とともに美しい村づくりの活動を進めている。また、村第 5 次総合計画基本構想では、『一人ひとりの元気が活きる美しい村“なかがわ”』を村の将来像として掲げている。“美しい村づくり”を一つのキーワードに、村民が一体となって村の美しい自然環境、伝統文化など地域の資源・財産を大切にする活動を進めている。

平成 28 年度は、さらに住民との協働を発展させることを目的に支援金を活用して事業を実施した。

住民ボランティアによる坂戸橋周辺の景観保全や、美しい村づくり協議会及び美しい村づくりシンポジウムの開催、住民主体の道路や水路等の修繕・改良の支援、“美し隊”による村内の景観保全などを行った。



【ガードレール塗り替え作業】

【目標・ねらい】

事業効果

美しい村づくりシンポジウムの開催により、平日昼間にも関わらず多くの村民が参加し、住民の美しい村づくりに対する理解が深まった。

同時に、美しい村づくり協議会を開催し、来年度に「中川村美しい村づくり推進計画」の策定を目指す方針が定まった。また、シンポジウム終了後の交流会では、村内産の食材のみを用いた料理を提供することで、新たな村の魅力発見につながった。

づく出し協働事業では、多くの地区や団体が事業を実施し、村内の景観向上や安全性の向上につながった。

- ①美しい村協議会の開催
- ②住民と協働による景観保全
- ③
- ④

※自己評価 【 B 】

【理由】
支援金の活用により、村内の景観づくりが活発に行われた。また美しい村づくりに対する住民の理解が深まった。

今後の取り組み

来年度も継続して美しい村づくり協議会を開催し、「中川村美しい村づくり推進計画」の策定を行う。自然と人間の営みが長い年月をかけて作りあげた小さな本当に美しい地域は、今ならまだ各地に残されており、それらを慈しみ、楽しみ、しっかりと未来へ残すために、自らの地域を愛する住民の協力を得ながら活動を継続していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある